

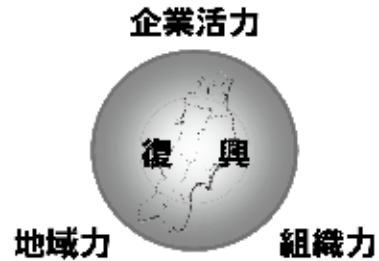
平成26年度商工会議所重点事業

会員の活力強化と活気あふれる仙台へ 着実な歩み!

当所では「新中期ビジョン」の3つの「力」を柱に、震災から3年が経過し刻々と変化する環境に対応すべく、全国の商工会議所・関係機関とのネットワークなど会議所の強みを活かした事業を展開し、活気あふれる仙台へ着実な歩みを進めます。

また「復興」状況を国内外に継続的に発信しながら、販路拡大・風評の払拭・観光の振興を図るとともに、「減災」の備えと新たな地域社会構築の事例を共有するため、より多くの方々に来仙を呼びかけます。

仙台商工会議所「新中期ビジョン」(平成25年～27年度)



震災を乗り越え新たな地域社会の構築

I 企業活力

1. 地域中小企業の経営支援強化及び 創業・経営革新支援

- 経営指導員や専門家による、経営相談機能を強化し、多様化する個別案件に対処して企業の成長を支援。
- 融資限度額が2,000万円に拡大された「マル経」融資制度の活用促進、さらに別枠1,000万円の震災対応特別枠や仙台市の利子補給制度の継続、地元金融機関との連携などにより資金繰り等を通じて経営改善を支援。
- 特別相談窓口を設置し、消費税引き上げに伴う転嫁対策と禁止行為等に対応。
- 創業支援と起業後の安定した事業継続を支援するため、専門家による経営相談・ビジネス交流・商談会などで多角的にフォローアップ。

2. ビジネス交流支援

- 会員相互の交流会事業(新入会員交流会・支店長交流会・朝活交流会など)を活発にし、各々の機能をクロスした交流事業を展開することにより、新たな人脈形成やビジネスパートナーの発掘など、ビジネスチャンスの拡大を支援。



- 3都市工業交流(仙台・米沢・会津若松)をはじめ、拠点都市商工会議所とのものづくり交流を活発化し、新たなビジネスのネットワーク構築を支援。

3. 販路回復・拡大、遊休機械無償マッチングなど 日商・全国の商工会議所と連携した広域・継続的な被災地復興支援

- 毎月開催の「伊達な商談会」におけるコーディネーターの専門的アドバイス、セミナーによる総合的な販売力強化などを通じ、販路開拓を支援。
- 工作機械や什器等を無償提供する「遊休機械無償マッチング」及び「販路回復・拡大」、「風評・風化防止のための情報発信」などを通じた東北全域の復興を支援。



II 地域力

4. 地域資源の活用と観光・コンベンションの推進による交流人口の拡大

- 「仙台七夕まつり」など仙台で開催される四季折々のまつり・イベントやプロスポーツなどの地域資源を活用した事業を実施するとともに、「仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン(4～6月)」「慶長遣欧使節出帆400年記念事業」「東北六魂祭(5月24日・25日/山形)」などの開催支援を通じて、交流人口を拡大。



- 「国連防災世界会議(H27年3月)」に向けたソフト・ハード両面にわたる受け入れ体制の促進とあわせ、国際会議・学会等や、2020年の東京オリンピック競技・参加国選手キャンプの誘致、民営化される仙台空港の利用促進などによる国内外の交流人口拡大を通じた地域活力向上。

5. 仙台の地域特性を活かした賑わいと魅力のあるまちづくりの推進

- 個店の資源を活かした「まちゼミ」の地域拡大、地域コミュニティと防災・防犯の担い手である商店街の活性化支援などの事業を通じ、各地域の特性を活かした賑わい創出。

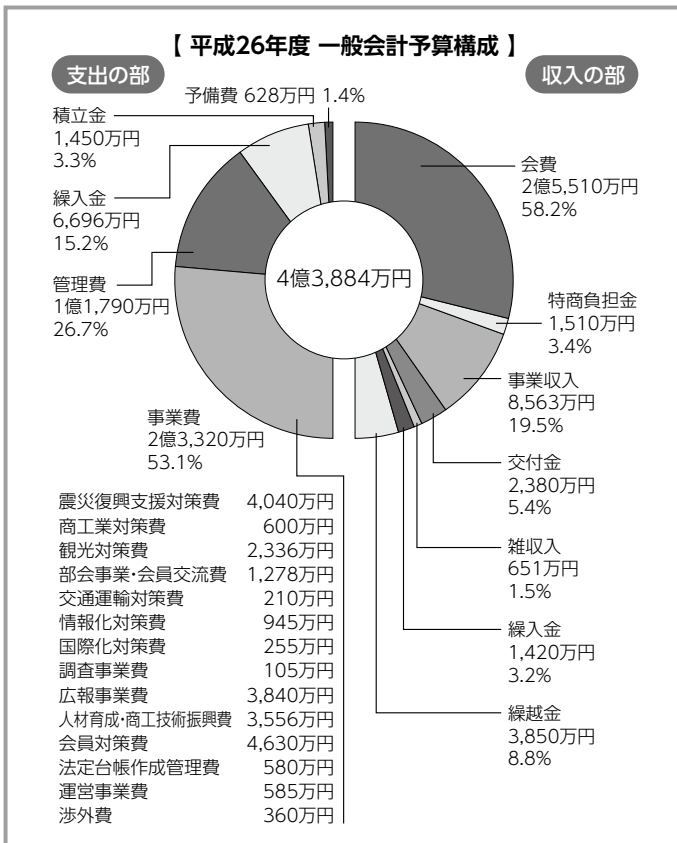


- 地下鉄東西線・南北線の利活用と沿線まちづくりの推進、仙台城など青葉山エリアの一体的な整備、仙台貨物ターミナル駅移転後における防災拠点機能の強化、大学移転跡地の利用計画の遵守など、美しく、住みよい特色のある都市づくりを推進。

III 組織力

6. 地域オピニオンリーダーとしての政策提言・要望活動の展開

- 回復基調にある景気を腰折れさせないための、中小企業振興・地域経済活性化に関する要望。
- スピードある復興に向け、刻々と変化する局面に応じた諸施策実現のための要望、及び、宮城復興局ほか関係機関との緊密な連携と情報収集。



7. 組織の強化とニーズを反映した取り組み

- 10,000 会員達成を目標とする組織的かつ継続的な会員増強活動。
- 全職員による継続的な会員訪問を通じた会員ニーズの掌握とサービスの向上。多様な媒体を活用した情報発信の強化、新たな会議所事業利用割引サービス「会員メニュー割引クーポン」の発行など、会議所活用・利便性の向上。
- 会員および若手経営者・女性経営者等の参画による活発な組織運営。